

ほんYA!かんYA!

## 甲賀市で聖地巡礼★～映画の巻～

「えっ、あの作品に！」と思うような映画に甲賀市が登場しているんですよ。市内で撮影された映画を(ほんの一部だけ)ご紹介。映画を観て、ロケ地を巡れば、作品も甲賀市の魅力ももっともっと深く知れるはず！

| 作品名                                      | キャスト              | ロケ地                                  |
|------------------------------------------|-------------------|--------------------------------------|
| 「室町無頼」<br>(2025年公開)                      | 大泉洋 長尾謙杜<br>堤真一   | 湖国興業採石場、野川の棚田、田村川、<br>新名神甲賀工業団地、大原ダム |
| 「THE LEGEND<br>& BUTTERFLY」<br>(2023年公開) | 木村拓哉<br>綾瀬はるか     | 岩尾池の一本杉、湖国興業採石場                      |
| 「線は、僕を描く」<br>(2022年公開)                   | 横浜流星 清原果耶<br>江口洋介 | 甲賀市役所、甲賀看護専門学校、<br>油日神社(参集殿台所)、栄鶏園ほか |

2026年3月20日(金・祝)に開催される甲賀映像祭2026で甲賀市を舞台にした映画『うみが通り過ぎたあとに』が上映されます。会場はあいこうか市民ホールで入場も無料なので、ぜひ参加してみてくださいね！

### トショブラ♥ ～YA(ヤングアダルト)のためのコーナー～

この「ホンマニ！」の表紙でも説明している「ヤングアダルト」。年齢で言えば13歳から19歳ぐらいの青少年を指しています。

大人と子どものあいだ、一瞬で過ぎ去ってしまうけれど瑞々しい感性がもっとも輝く時期の世代に向けて、図書館ではおすすめの本を集めたコーナーを常設しています。哲学書、ライトノベル、実用書、読み物など多様な本の中から心に響く一冊を探してみてくださいね。

発行：甲賀市図書館

水口図書館 : 63-7400 土山図書館 : 66-1056

甲賀図書館情報館 : 88-7246 甲南図書館交流館 : 86-1504

信楽図書館 : 82-0320

ホームページ : <https://lib.city.koka.lg.jp/>

Book guide for Young Adult

甲賀市図書館ヤングアダルト通信



vol.22

2025. Winter -Spring  
Koka City Library

ヤングアダルト (Young Adult) とは、中学生・高校生を中心とした大人と子どもの境目の世代「若い大人」「大人になりつつある人」という意味です。

甲賀市図書館ヤングアダルト通信『ホンマニ!』では、ヤングアダルト世代のあなたに、おすすめの本を紹介します。

### ★ある男子高校生の三年間の軌跡を辿る 『願わくば海の底で』

額賀澤／著 東京創元社

### おすすめ この1冊



東北地方の沿岸部にある高校に通う美術部員の菅原晋也。彼には人に言えない悪癖があり中学生の頃、苦い経験をしていた。同じことを繰り返すまいと、突飛な行動に出ることもあるが、必死に自分と向き合い、もがき、それでも人と繋がろうと自己と対峙する姿がそこにはあった。先輩に秘密を気づかれたこと、同級生にプールに落とされたこと、美術室で先生に指摘されたこと…。彼がこれから紡いでいくはずの物語は3月の“あの日”の出来事によって全て断ち切られてしまう。

2011年3月11日、東日本で発生した地震による津波は全てを飲み込み、人々の生活を奪い去った。日常は永遠ではなく「いまここ」に生きることの尊さを伝えてくれる、切なくも優しい祈りの物語。

●書くことが楽しくなる  
『日曜日の文芸クラブ』

小手鞠るい／著 講談社



文章を書くことがしんどいと思ったことはありませんか。自分のまわりで起こった出来事や、考えたことを文章にできればどんなに楽しいことでしょう。小学生のときから書くことが好きで、中学校では文芸クラブに入っていた筆者が自分の体験を織りまぜながら、詩、日記、感想文、物語などを書くコツを語りかけるような文体で綴っています。

読む人の心をつかみ、自分も楽しく「文章を書く」方法を、優しく丁寧に教えてくれる一冊です。

●世界の国からやって来た色々な人たちの生活模様  
『日本に住んでる世界のひと』

金井真紀／文・絵 大和書房



カリブ海から来た語学の達人、中国から来た元不良の料理人など、来日した理由は人それぞれ。ひとりひとりの普段の生活の中には、難民・移民問題、差別、貧困など様々な現実が見え隠れしています。

平和で安全な日本に住んでいるからこそ、この本を読んで他国の人々の考え方・異文化に触れ、世界について思いを馳せるきっかけにしてほしいと思います。

●ギュースターヴくんと一緒に不思議な生き物に会いに行きましょう  
『ギュースターヴくんとまぼろしのどうぶつ』

ヒグチユウコ／著 白泉社



数々の企業やブランドとのコラボレーション、書籍の装画なども手がける人気画家・ヒグチユウコの描く絵本。いたずら好きで、頭は猫、手はヘビ、足はタコという不思議な生き物“ギュースターヴくん”が10匹集まり、まぼろしのどうぶつを捕まえるため森へ探検に出かけます。森の中には、見る者を惹きつける奇妙で魅力的な生き物たちがいっぱい。作者の唯一無二な世界観がたっぷり詰まった、かわいらしくて癒される冒険物語です。

●高校生たちのちょっとした冒険  
『それは誠』

乗代雄介／著 文藝春秋



高校2年生の佐田誠は、東京への修学旅行を利用して生き別れになった大好きな「おじさん」を探そうと計画します。ぎこちない人間関係の中で、誠と偶然同じ班になった男女7人の高校生たちは、最終日の自由行動でコースを外れて小さな冒険の旅に出ます。いつしか彼らの絆は深まり、熱い友情がはぐくまれていきます。果たして「おじさん」に会えるのか、爽やかな青春の1ページに出会える本です。

●恵みの雨が心を解き放つ  
『モンスーンの贈りもの』

ミタリ・パーキンス／作 永瀬比奈／訳 鈴木出版



カリフォルニアに住む女子高生のジャズは、家族とともにインドでひと夏を過ごすことになった。幼なじみのスティーブとはじめた小さなビジネスは順調だったけれど、自分に自信がもてず、彼への恋心は隠したまま。しかし、インドで知り合ったお手伝いのダニタや周りの人々との交流で、彼女はみるみる成長していく。恋の行方は？ビジネスでの成功体験から起こしたある行動とは？！ジャズの自信溢れるアクションがあなたに勇気をくれる物語です。

●詩はわからないけど…

『ぼくがゆびをばちんとならして、きみがおとなになるまえの詩集』

斉藤倫／著 高野文子／画 福音館書店



小学生の「きみ」とおとなの「ぼく」が日常のやりとりをしながら、詩について語り合うひと夏の物語です。詩ってわからない、むずかしいと思いがち。でも本好きの「ぼく」が本棚から選んで「きみ」に紹介する詩と二人の会話を読むうちに、詩の意味がわからなくても大丈夫、もっと気楽に自由に読めばいいと思うかも。題名にある「おとなになるまえ」のあなたたちだからこそ、きっとここに響くものがあるはず。あらたに詩と出会うきっかけとなる一冊です。